

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24228007	研究期間	平成24年度～平成28年度
研究課題名	熱帯アジア・アフリカにおける生産生態資源管理モデルによる気候変動適応型農業の創出	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	舟川 晋也（京都大学・地球環境学学堂・教授）

【平成27年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究は、気候変動に対して脆弱性が危惧される熱帯アジア・アフリカ地域を対象として、炭素・窒素や土壌鉱物などの生産生態資源と気候や土壌などの生産生態環境を解析し、栽培技術的な対応及び持続性維持のための対応を強化することによって気候変動適応型農業を創出することを目的とした壮大な研究であり、現時点では概ね順調に進捗している。これまでの研究では、個々の課題で一定程度の知見が集積されており、熱帯各地の土壌の無機養分フラックスの解析や土壌侵食抑止のための基礎的データが蓄積され、今後の研究期間におけるモデル化作業への発展が期待できる。各課題を統合するこれからの過程で、研究者相互間の有機的な連携の強化を期待する。